

## キャンパス内における キツネとの共生の試みと景観向上

【メンバー】 [学 生] 斎藤 亜緒衣/森 莊太郎/川村 雪乃/浅野 凜子/仲村 翔太/  
池田 瞬哉/吉田 創/圓子 海斗/樽井 悠  
[担当教員] 三上 修/紀藤 典夫

### 【背景】

キャンパス内にキツネが住み着き、エキノコックス症を媒介する恐れがある。そこで何らかの方法で感染のリスクを低下させる必要があった。また、学内の畑や温室、池が荒れた状態で放置されていて、そのままにしておくとも景観が悪く、不快昆虫が発生する恐れがあった。

### 【目的】

#### プロジェクト1

畑、温室内で植物を育てることで景観を向上させる。また、池の周囲に生えている雑草を取り除くことで池の景観を向上させる。

#### プロジェクト2

エキノコックス症のメカニズムを理解した上で駆虫薬を作成する。ベイトトラップを作り、駆虫薬を撒くことでキツネからエキノコックスを取り除き、仮にキツネがいても安全な状態にする。また、学内にエキノコックス症を啓発するポスター掲示することでキツネに触れないように促す。

### 【概要】

#### プロジェクト1

畑、温室の雑草を取り除き、4種類の植物を育てた。水やりや畑・温室の状態を定期的に確認することで景観を整えた。池の雑草も取り除き、雑草以外の生存している植物を保全することで池の景観を向上させる。

#### プロジェクト2

ベイト散布によってキツネ体内のエキノコックスを駆虫したり、ポスター掲示によってキツネに触れないよう周知したりすることでキツネがいても安全な状態を目指した。また、定点カメラでキツネの撮影も試みた。

### 【プロセスと成果】

#### プロジェクト1

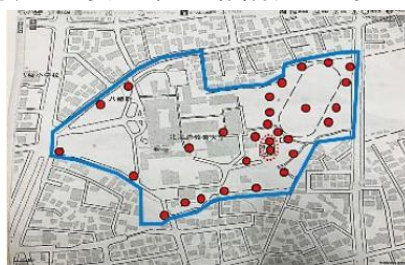
前期は畑、温室を利用して植物を育てた。池の環境を整備するために内側に生えている雑草を取り除き、池の景観を向上させた。季節による影響があるため、畑・温室を優先して活動をした。後期は池の整備に力を入れ、積雪により活動が難しくなる前である10月から草むしりをして荒れた状態を改善した。しかし、池に水が溜まらないという問題を解決できなかったので来年度に向けた資料を作成した。

#### プロジェクト2

前期はエキノコックスに対する知識を深めた。6月からベイト散布を行った。10月までは元からあったベイトを散布していたが、10月散布分からベイトを自作した。また、キツネがベイトを食べている様子を撮影するためのカメラも10月から設置した。設置したカメラでキツネを撮影することはできず、ポスターに掲載した目撃情報収集用のGoogleフォームからの目撃情報も得られなかった。キツネがキャンパス内にいるという確証は得られなかったが、今後も安全な状態にしておくためベイト散布を継続する必要があると結論付けた。



【草むしり後の景観が向上した池】



【ベイト散布場所】

## 【総括と反省・今後の課題】

### 「総括」

前期は、畑の景観向上、エキノкокスの駆虫を行った。後期は、エキノкокスの駆虫の継続、池の整備、玄関前の装飾を行った。

池については、雑草を駆除し、景観を向上させた。また、池の水を保持する方法や、水質の向上のために行うべきことを学習し、資料を作成した。

玄関前の装飾についてはクリスマス期間にイルミネーションなどを用いて装飾を行った。

これらの活動により景観を向上させることができた。だが、池については、未だ水が干上がっている状態である。

キツネとの共生については、ベイト散布時に設置していた2台のカメラに、キツネの姿は映っていなかった。また、ポスターに掲載した目撃情報収集用の投稿フォームには情報は寄せられていなかった。昨年度は、キツネの目撃情報があり、また同じように設置したカメラにキツネが写っていたことから、今年度は、キツネが学内に出没しなくなった可能性が考えられる。よって構内でエキノкокスに感染するリスクはなく、歓迎すべきことだと考える。

### 「反省」

前期の活動に付随して、キツネの目撃情報やエキノкокス症に関するポスターの作成・掲示を行ったが、最終発表の場でポスターの存在を認識した意見が多く、あまり広い層まで広報を行うことができていなかった。クリスマスイベントに関しては、計画が詰め切れていないところはいくつかあり、作業当日に問題が発生してしまうことがあった。このことにも関わり、クリスマス装飾はより華やかにできたのではないかと感じた。

### 「今後の課題」

栽培に成功した野菜が4種類中1種類だったので、次年度は温室・畑の利用のみではなく、質の良い野菜を育てる方法についても学習したい。

今年達成した池の環境整備は、雑草を取り除くことのみだったが、次年度は池に水が張っている状態を継続させること、さらには水質を改善して水生生物の生息環境を向上させていきたい。

キツネが学内に出没しなくなった可能性があることから、エキノкокスに感染するリスクはないと考えられる。だが、安全確保のため今後もベイトを継続的に撒き、キツネの生息状況を正確に把握する必要がある。

## 【地域からの評価】

エキノкокスについてポスターで周知し、さらに最終発表で詳細に説明したことで、エキノкокスの存在自体を初めて知った、危険性を認識した、キツネの目撃情報提供に協力したい、という感想が多く寄せられた。

雑草の刈り取り、池の整備、クリスマス装飾など景観向上を目的に活動したことで、明るい雰囲気になった、心が癒されたという感想をいただいた。

畑を整備して景観を良くするだけでなく、植物を栽培して整備後も実際に畑として利用できるようにしていた点が、活動後の実用性も考えられていると評価された。継続を期待する声も寄せられていた。

## 【その他】

### 年間スケジュール

|    |         |  |
|----|---------|--|
| 前期 | 6月 5日   | 第1回「動画視聴」                                  |
|    | 6月 24日  | 第2回「Zoomミーティング」                            |
|    | 7月 2日   | 第3回「畑・温室整備」                                |
|    | 7月 14日  | 第4回「Zoomミーティング」                            |
|    | 7月～     | 第5回「エキノкокスについて、情報を集め、学びを深める。駆虫薬を作成・散布する。」 |
| 後期 | 定期      | 「温室・畑管理」                                   |
|    | 10月 14日 | 第1回「作物収穫」                                  |
|    | 10月 20日 | 第2回「駆虫薬の作成」                                |
|    | 10月 22日 | 第3回「池の雑草駆除」                                |
|    | 11月 30日 | 第4回「ベイト散布」                                 |
|    | 12月 20日 | 第5回「クリスマス装飾」                               |
|    | 12月 25日 | 第6回「ベイト散布」                                 |